

3. 再編内容について

3-1 再編方針を踏まえた路線の評価

前章で設定した再編方針に基づき、本計画で対象としている路線を評価する。

(1) 評価の考え方

「方針1：役割分担、交通拠点への接続」、「方針2：移動需要（通学、通院、買い物）への対応」の視点から、現状の運行経路や運行時刻を評価する。

「方針3：運行効率の向上」の視点から、収支率の目標値30%以上（平成31年度）と乗降調査から集計した1便あたり利用者数により運行の効率性を評価する。

▼ 評価の視点と評価基準

方針	評価の視点	評価	評価基準
方針1	役割分担 交通拠点への接続	○	往復ともに交通拠点に乗り入れている。
		△	片道のみ交通拠点に乗り入れている。
		×	交通拠点に乗り入っていない。
方針2	通学、通院、買い物への対応	○	通学：小中高校への登校に適した運行となっている。 通院、買い物：基幹病院及び商業施設へ乗り入れている。
		×	通学：小中高校への登校に適した運行となっていない。 通院、買い物：基幹病院及び商業施設へ乗り入っていない。
方針3	運行効率の向上		収支率が目標値の30%を下回っている。

※ 自家用有償旅客運送（安塚区、大島区、牧区、頸城区の一部）は、スクールバスに一般の利用者が混乗しており、小学校や中学校への登下校を優先していることから、評価対象に含めない。

※ 三和区と高田地区を結ぶ「水科・今保線」と「真砂・岡田線」は、平成27年4月に再編したことから評価対象に含めない。

《乗降調査から集計した1便あたり利用者数について》

実施者：運行事業者

調査日：平成26年8月又は9月（平日…3日分、土日祝日…2日分）

計算方法：調査日の合計利用者人数÷調査日の運行便数（往復）

その他：

- 1 頸城自動車(株)が運行する路線は、主な停留所区間の最大乗車人数を調査しており、1便あたり利用者数を計算できないため記載していない。
- 2 東頸バス(株)が運行する区域運行路線は、平成26年7月から9月までの実績から算出
- 3 関山ルート及び岡沢ルートは、平成25年10月から平成26年9月までの実績から算出

(2) 評価

再編番号	路線名	方針1 交通拠点への接続							方針2 通学、通院、買物への対応			方針3 運行効率の向上 (H26実績)								
		直江津駅、案内所	春日山駅、案内所	高田駅、案内所	区中心	ゲートウェイ	役割		通学	通院	買い物	乗車密度	収支率	運行回数(往復)と1便あたり平均利用者数						
							拠点間	地域内						平日(往復)	1便当たり	土曜(往復)	1便当たり	日曜(往復)	1便当たり	元旦(往復)
1	上越大通り線(鶴の浜~上越妙高)	△	x	x	-	○	○	-	○	x	-	2.2	39.8%	8.0	-	6.0	-	6.0	-	2.0
	上越大通り線(直江津~中央病院・今泉)	△	○	x	-	△	○	-	○	○	○	-	-	15.0	-	10.5	-	10.5	-	5.0
	上越大通り線(新井BT~中央病院)	-	-	○	○	○	○	-	○	○	-	2.3	38.1%	12.0	-	9.0	-	9.0	-	4.0
	浜線	○	-	-	○	-	○	-	○	x	x	1.6	28.0%	8.0	-	6.0	-	6.0	-	4.0
2	名立線(労災病院前発)	○	-	-	○	-	○	-	○	○	○	1.3	26.9%	3.0	-	3.0	-	3.0	-	2.0
	名立線(うみてらす名立発)	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	2.0	30.2%	3.0	-	1.0	-	1.0	-	-
	能生線	○	-	-	-	-	○	-	○	○	○	2.0	28.8%	2.0	-	2.0	-	-	-	-
3	山直海線(村屋・尾神行き)	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	2.2	38.3%	5.0	6.6	2.5	1.5	2.5	0.4	-
	山直海線(村屋行き)	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	2.7	50.2%	4.0	6.6	0.5	1.5	0.5	-	-
	泉谷・勝穂循環線	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	2.0	31.5%	7.0	2.9	3.0	0.2	-	-	-
	吉川西部循環線	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	4.5	74.5%	5.0	2.3	3.0	0.2	-	-	-
	上下浜駅線	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	1.0	27.3%	4.0	1.1	2.0	0.8	-	-	-
	吉川くびき駅線	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	0.5	14.7%	3.0	0.4	2.0	0.0	-	-	-
4	宮口線(宇津の俣行き)	-	-	○	○	-	○	-	○	○	x	2.0	37.4%	5.0	7.7	4.0	3.7	4.0	2.9	4.0
	宮口線(牧小学校行き)	-	-	○	○	-	-	○	○	x	2.0	41.6%	5.0	7.7	2.0	3.7	2.0	2.9	2.0	
	青柳線(下稲塚經由赤池行き)	-	-	○	○	-	-	○	x	x	2.0	39.0%	3.5	3.0	3.0	1.3	3.0	0.5	2.0	
	青柳線(下稲塚經由青柳行き)	-	-	○	○	-	-	○	x	x	0.8	15.9%	4.0	3.0	2.0	1.3	2.0	0.5	1.0	
	青柳線(松野木經由青柳行き)	-	-	○	○	-	-	○	x	x	1.8	26.1%	3.5	2.0	2.0	2.0	2.0	-	-	
5	上直海線	-	-	-	○	-	-	○	x	-	-	0.1	3.2%	2.0	0.2	-	-	-	-	
	森本線	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	0.2	4.7%	4.0	0.6	-	-	-	-	
6	直江津・浦川原線	○	-	-	○	-	-	○	-	x	○	1.7	29.8%	9.0	-	7.0	-	7.0	-	4.0
	安塚線	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	1.9	64.6%	9.0	6.1	4.0	0.6	-	-	-
	大平線	-	-	-	○	-	-	○	-	x	-	0.4	13.3%	4.0	2.3	-	-	-	-	-
	月影・下保倉・末広ルート	-	-	-	○	-	-	○	x	-	-	(区域)	6.7%	6.0	1.5	-	-	-	-	-
	東西ルート	-	-	-	○	-	-	○	x	-	-	(区域)	5.8%	2.0	1.8	-	-	-	-	-
	小麦平ルート	-	-	-	○	-	-	○	x	-	-	(区域)	8.7%	週2	1.5	-	-	-	-	-
	上柿野ルート	-	-	-	○	-	-	○	x	-	-	(区域)	11.7%	週2	3.1	-	-	-	-	-
	高田・浦川原線	-	-	○	○	-	-	○	-	x	x	0.8	15.1%	5.0	4.5	4.0	2.9	4.0	1.6	2.0
7	菰立線(板倉CP発)	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	0.9	17.6%	4.5	5.5	3.5	1.7	3.5	0.0	-
	菰立線(新井パスタミナル、けいなん病院発)	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	1.6	22.7%	2.0	2.0	1.5	1.7	1.5	-	-
	上関田線(新井パスタミナル、けいなん病院発)	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	2.3	29.2%	5.0	6.0	4.0	2.0	4.0	1.2	-
	上関田線(板倉CP発)	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	1.4	23.1%	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	-	-
	山寺薬師線(新井パスタミナル、けいなん病院発)	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	1.8	25.1%	2.5	5.4	2.0	4.0	2.0	1.0	-
	山寺薬師線(板倉CP発)	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	0.5	10.1%	4.5	3.0	3.0	3.0	3.0	-	-
	三針線(新井パスタミナル、けいなん病院発)	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	1.7	28.2%	3.0	1.3	-	-	-	-	-
	三針線(板倉CP発)	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	0.6	13.2%	2.0	-	-	-	-	-	-
	島田線	-	-	○	○	-	-	○	-	x	x	0.8	15.6%	5.0	2.8	5.0	1.3	5.0	0.8	4.0
8	南川線(市村経由)	○	-	-	○	-	-	○	○	○	○	2.8	58.5%	5.0	-	2.0	-	2.0	-	-
	南川線(島田経由)	○	-	-	○	-	-	○	○	○	○	2.6	49.6%	5.0	-	3.0	-	3.0	-	-
	黒井駅線	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	2.2	29.6%	3.5	5.6	-	-	-	-	-
9	黒岩線(米山寺経由)	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	0.5	10.8%	6.0	0.8	-	-	-	-	-
	黒岩線(下灰庭経由)	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	0.8	13.4%	3.0	-	-	-	-	-	-
	水野線	-	-	-	○	-	-	○	-	x	-	0.3	8.4%	3.0	0.3	-	-	-	-	-
10	関山ルート	-	-	-	○	-	-	○	○	○	-	(区域)	15.3%	4.0	2.5	-	-	-	-	-
	岡沢ルート	-	-	-	○	-	-	○	○	○	-	(区域)	22.8%	5.0	3.4	-	-	-	-	-
11	斐太線	-	-	○	-	-	-	○	○	○	-	0.4	10.5%	3.0	3.4	-	-	-	-	-
	青田線	-	-	○	-	-	-	○	○	○	-	1.0	27.1%	3.0	2.9	-	-	-	-	-
12	正善寺線	-	-	x	○	-	-	○	○	-	-	0.6	16.5%	4.0	3.0	-	-	-	-	-
13	教育大学線(中央病院発)	○	-	x	-	-	-	○	○	○	-	2.1	38.5%	5.0	-	4.5	-	4.5	-	2.0
	教育大学線(バロー上越店前発)	○	-	x	-	-	-	○	○	○	○	2.0	36.6%	3.5	-	3.0	-	3.0	-	1.0
	春日山線(中央病院行き)	○	-	x	-	-	-	○	-	○	-	2.0	39.2%	4.0	-	4.0	-	3.5	-	3.5
	春日山線(悠久の里前行き)	○	-	x	-	-	-	○	-	○	○	2.0	38.7%	4.0	-	2.5	-	2.5	-	-
	春日山・佐内線	○	-	x	-	-	-	○	-	○	○	2.2	37.1%	2.0	-	1.5	-	1.5	-	-
	上越病院線	○	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	6.0	-	6.0	-	-	-	-
	富岡線	○	-	○	-	-	-	○	○	○	○	2.7	53.0%	7.5	-	7.5	-	7.5	-	4.5
	増田線(くびき駅前行き)	-	-	○	-	-	-	○	-	x	x	0.8	16.7%	3.0	6.2	-	-	-	-	-
	桑取線	○	-	-	-	-	-	○	-	○	○	1.5	24.9%	5.0	-	4.0	-	4.0	-	3.0
14	山麓線	○	x	-	-	-	-	○	-	-	-	1.7	32.9%	3.0	-	-	-	-	-	-
	佐内・直江津循環線	○	-	-	-	-	-	○	-	○	○	0.7	12.9%	4.0	-	2.0	-	2.0	-	-
	謙信公大通り線	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	0.9	27.3%	1.5	-	-	-	-	-	-
	謙信公大通り循環線	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	0.7	13.9%	3.0	-	-	-	-	-	-
	春日山駅・アルカディアデビル便	-	-	○	-	-	-	-	○	○	○	0.9	13.5%	-	-	10.0	-	10.0	-	10.0
	犀潟駅線	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	2.0	61.7%	3.5	2.4	-	-	-	-	-
	くびき駅線	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	1.4	21.2%	3.5	9.0	-	-	-	-	-
	柳町線	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	2.0	48.1%	3.0	2.3	-	-	-	-	-

※平均乗車密度は、運送収入から計算した利用尺度のこと(1便あたり、起点から終点までの平均の利用者の数)。

計算式=運送収入/賃率/実車走行距離

再編番号	路線名	個別評価
1	上越大通り線(鶴の浜～上越妙高)	直江津駅及び高田駅への確実な乗り入れ、上越妙高駅での北陸新幹線との接続の改善が必要。路線上に ある市役所や労災病院、商業施設などの生活利便施設や学校に対し、利用時間や利用実態にあわせてアク セス向上が必要
	上越大通り線(直江津～中央病院・今泉)	
	上越大通り線(新井BT～中央病院)	
2	浜線	新潟労災病院や柿崎病院、柿崎区内の商業施設へ乗り入れる必要がある。また、収支率の改善が必要
	名立線(労災病院前発)	収支率が30%を下回っており、効率化による収支率の改善が必要
3	名立線(うみてらす名立発)	名立線と重複箇所が多く、収支率が30%を下回っているため重複解消が必要
	能生線	
	山直海線(村屋・尾神行き)	
	山直海線(村屋行き)	
	泉谷・勝穂循環線	
4	吉川西部循環線	土日の利用者数が極端に少ないので、利用状況を把握した上で運行便数の調整が必要
	上下浜駅線	
	吉川くびき駅線	
	宮口線(宇津の俣行き)	
5	宮口線(牧小学校行き)	宮口線は、路線沿線の商業施設に乗り入れることを検討し、主な目的地への移動需要を満たす必要がある
	青柳線(下稲塚経由赤池行き)	
	青柳線(下稲塚経由青柳行き)	
	青柳線(松野木経由青柳行き)	
	森本線	
6	上直海線	登校に適した運行時刻ではないため、利用意向を確認し、運行内容を見直す必要がある また、収支率が極端に低いため、効率化に取り組み収支率の改善を図る必要がある
	直江津・浦川原線	
	安塚線	
	大平線	
	浦影・下保倉・末広ルート	
	東西ルート	
	小麦平ルート	
上柿野ルート		
7	高田・浦川原線	浦川原区内の小学校の統廃合に合う運行内容に見直す必要がある
	菟立線(板倉CP発)	
	菟立線(新井ハスターミナル、けいなん病院発)	
	上関田線(新井ハスターミナル、けいなん病院発)	
	上関田線(板倉CP発)	
	山寺薬師線(新井ハスターミナル、けいなん病院発)	
	山寺薬師線(板倉CP発)	
	三針線(新井ハスターミナル、けいなん病院発)	
三針線(板倉CP発)		
8	島田線	島田線は、県立中央病院や商業施設に乗り入れていないので、他の交通ネットワークの活用を視野に入れた 主な目的地への移動性向上が必要
	南川線(市村経由)	
	南川線(島田経由)	
9	黒井駅線	黒井駅線は、収支率が30%を下回っている。収支率の改善を図るためには、運行経路が一部重複する南川 線と合わせて運行内容を検討する必要がある
	黒岩線(米山寺経由)	
	黒岩線(下灰庭経由)	
10	水野線	水野線は登校に適した運行時刻ではないため、運行時刻を検討する必要がある また、収支率が極端に低いため、効率化に取り組み収支率の改善を図る必要がある
	関山ルート	
11	岡沢ルート	収支率が30%を下回っており、二本木駅への乗り入れなど利用促進に取り組み、収支率の改善を図る必要 がある
	斐太線	
12	青田線	収支率が30%を下回っている。運行便数が3往復であるが、センター病院への接続に配慮しながら、新たな 公共交通システムを検討し、効率化と収支率の改善を図る必要がある
	正善寺線	
13	教育大学線(中央病院発)	直江津駅や高田駅への確実な乗り入れ、高田駅・中央病院間は複数の路線が重複していることから、運行 時刻が等間隔になるようにダイヤ調整、適切な運行本数への見直しと待ち時間の短縮による利便性の向上 に取り組み必要がある 人口の推進・維持を図り居住などが見込まれる路線については、利用需要にあわせた運行経路やダイヤの 見直しと、休日における運行本数の充実など利便性の向上を図る必要がある
	教育大学線(バロー上越店前発)	
	春日山線(中央病院行き)	
	春日山線(悠久の里前行き)	
	春日山・佐内線	
	上越病院線	
	富岡線	
	増田線(くびき駅前行き)	
	桑取線	
	山麓線	
14	佐内・直江津循環線	春日山駅への乗り入れ、上越妙高駅での北陸新幹線との接続の向上を図る必要がある。 人口の推進・維持を図り居住などが見込まれる路線については、利用需要にあわせた運行経路やダイヤの 見直しと、休日における運行本数の充実など利便性の向上を図る必要がある
	謙信公大通り線	
	謙信公大通り循環線	
	春日山駅・アルガインヤトル便	
	厚湯駅線	
14	くびき駅線	くびき駅線は、収支率が30%を下回っているため、区内の児童生徒の移動状況を踏まえ、一般利用者の利 用促進策を検討し収支率の改善を図る必要がある
	柳町線	

【全体の評価結果】

評価対象路線を評価基準に照らし合わせて評価したところ、全ての路線で再編に取り組む必要がある。

(3) 上越市総合公共交通計画との整合

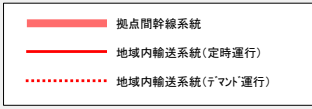
対象路線の再編は、再編方針と評価、上越市総合公共交通計画で示した見直しの方向性に基づき、以下のとおり実施する。

▼ 上越市総合公共交通計画と具体的な再編内容との関係

地区	上越市総合公共交通計画(H26)に基づく見直しの方向性	再編番号	路線名	具体的な再編内容	
合併前上越市	路線の再編成・見直し(浜線、上越大通り線、直江津・浦川原線) 重複区間の再編編成(三和方面、名立方面) 新たな公共交通システムの導入(正善寺線、青田線) 高田地区、直江津地区の重複する路線バスの再構築 新たな商業施設(富岡地区、とよば地区)への移動性向上	1	上越大通り線(新井バスターミナル行き)	ゲートウェイ(上越妙高駅)への接続を確保(新幹線との接続改善)	
			上越大通り線	拠点間輸送システムとしての役割を明確にし、交通拠点(鶴の浜、直江津駅、労災病院、高田駅、中央病院)へ乗り入れる	
			浜線	柿崎バスターミナルから鶴の浜までの地域内輸送システムとして柿崎病院等への移動性向上を図る	
		2	名立線	名立区内は、路線バスとスクールバスとの重複を解消し、自家用有償旅客運送により地域内輸送システムを確保	
			能生線	名立線との運行時刻を調整し、拠点間輸送システムを維持	
浦川原区	利用状況に応じた直江津・浦川原線と大平線の見直し	3	山直海線	拠点間輸送システムとして維持	
大島区	利用ニーズに応じた大平線の見直し		泉谷・勝穂循環線	地域内輸送システム(吉川西部循環線、吉川くびき駅線、上下浜駅線)を利用状況に合わせて、吉川西部循環線に統合	
			吉川西部循環線		
牧区	利用ニーズに応じた宮口線の経路変更(パロー乗り入れ、深山荘へ延伸)		上下浜駅線		児童、生徒の人数に応じて路線バスとスクールバスとの重複区間の解消を検討
		吉川くびき駅線			
柿崎区	浜線の再編	4	宮口線	運行経路の見直し(商業施設等への乗り入れ)	
	利用に応じた柿崎・森本線の見直し		青柳線	児童、生徒の人数に応じて、清里区総合事務所から赤池までに自家用有償旅客運送を導入 高田駅から清里区総合事務所までの間は、運行経路(下稲塚経由と松野木経由の統合、医療施設への乗り入れ)と運行便数を検討	
	利用に応じた上直海線の見直し				
	利用に応じた黒岩線、水野線のダイヤの見直し				
大潟区	路線の統合(浜線、上越大通り線)	5	上直海線	利用状況に応じた運行時刻の見直しと全区間をデマンド運行に切り替える	
	利用状況にあわせた柿崎・森本線の見直し		森本線	免許センターに乗り入れ利用促進を図る くびき駅から長峰までの間でデマンド運行を実施	
頸城区	利用状況にあわせた柿崎・森本線の見直し	6	直江津・浦川原線	浦川原区内の小学校の統廃合に合わせて路線バスの運行経路と時刻を見直し、登下校の移動手段を確保	
	南川線の黒井駅乗り入れ		安塚線		
吉川区			利用者の少ない柿崎・森本線、上下浜駅線の見直し		大平線
	月影・下保倉・末広ルート				直江津・浦川原線は利用実態に合わせた運行便数等を検討
	東西ルート				
	小麦平ルート				
上柿野ルート					
中郷区	二本木駅への乗り入れの検討	7	高田・浦川原線	けいなん病院、新井BT～板倉CP間を幹線、板倉CP～各地間を支線に位置つけて役割分担を明確化 運行経路の検討(針商店街、上越妙高駅への乗り入れ)	
			菰立線		
			上関田線		
			山寺薬師線		
			三針線		
板倉区	路線の見直し(菰立線、山寺薬師線、上関田線)	8	島田線	島田線は土日の運行本数の見直し	
	路線の見直し(島田線)		南川線(市村経由)	利用状況に応じた運行経路と運行本数の見直し	
清里区	スクールバスと重複している清里線の重複区間の解消	9	南川線(島田経由)	デマンド運行や路線の重複解消を検討(南川線の黒井駅へ乗り入れ困難)	
			黒岩線	2台で運行している黒岩線・水野線を、1台で対応できる運行形態へ変更することを検討	
			水野線		
名立区	スクールバスと重複している名立線の混乗化 名立線と能生線の路線再編の検討	10	関山ルート	交通拠点(二本木駅)への乗り入れと、二本木駅で鉄道への接続に配慮した運行時刻へ見直し	
			岡沢ルート		
			斐太線		2台で運行している斐太線・青田線を1台で対応できる運行形態へ変更することを検討
青田線					
【合併前上越市】	交通拠点(高田駅)へ乗り入れながら、高田地区内で重複している箇所の解消を検討する。直江津地区や春日山地区を循環する路線の収支率改善と、区間の交通拠点から合併前上越市の交通拠点を連絡する路線との接続に配慮した面的な交通ネットワークを構築するため、路線単独ではなく合併前上越市全体のネットワークの再構築を検討する。 上越大通り線の見直し状況(再編番号1)と各路線の利用状況や移動傾向、まちづくり方針等に基づき、次期計画に向けた情報収集を行う	13	正善寺線	斐太線、青田線の再編に合わせ、正善寺線の宮口線への統合を検討	
			14	頸城区循環線	区内の小中学校への登下校の活用されている。現状を踏まえた上で一般の利用が進む運行時刻等を検討

(4) 再編計画の全体図

現在の路線図
(※ 再編する路線のみ記載)



系統番号	路線名
1	上越大通り線 (本町経由)
1	上越大通り線 (新井BT行き)
2	上越大通り線 (西城町経由)
3	浜線
10	直江津・浦川原線
20	南川線(市村経由)
21	南川線(島田経由)
23	森本線
26	黒井駅線
31	名立線
32	能生線
41	宮口線
42	正善寺線
46	島田線
47	青柳線
48	斐太線
49	青田線
61	大平線
74	菰立線
75	上関田線
76	山寺薬師線
77	三針線
81	上下浜駅線
82	吉川西部循環線
83	山直海線
85	黒岩線
86	上直海線
87	水野線
90	関山ルート
91	岡沢ルート



再編案
(※再編する路線のみ記載)

